

戸田康之さん『節分 2022』（2月28日配信）

こんにちは！戸田です。よろしく。  
今日のお話は、2月3日の節分についてです。

今、私はろう学校で働いています。幼稚部で、3歳から5歳の子どもたちを相手に仕事をしています。

先日、2月の節分があり、鬼役は先生で私もやりました。毎年毎年、鬼のかつらをかぶり、お面をつけ、全身鬼の扮装をして、暴れまわります。子どもたちが怖がって逃げ回る様子を楽しく見守っていました。

ですが、今年の子どもたちは違ったんです。鬼が脅かしても、泣いた子どもたちはほんのちょっと。武器を持って立ち向かってきたんです。鬼には豆をぶつけるんだよと言いましたが、子どもたちはそれも分かっています。でも豆をぶつけても鬼は全然へっちゃらで暴れます。一生懸命豆をぶつけているのに鬼が全然堪えないので、子どもたちが怒って他の方法を考えたようなんです。棒を作って鬼に向かっていったり、パンチしたり蹴ったり、子どもたちは鬼をどうやって倒そうか、豆をぶつけるだけでは無理だからと考えたんですね。

いちばんおもしろかったのは、ある女の子です。鬼は怖いんだけど、豆をぶつけても全然倒せずに向かってくるので、鬼の後ろに回り込んだんです。鬼はパンツを履いているのですが、女の子はそのパンツを下したんです。鬼はパンツを下され慌てます。繰り返して下してきます。すると他の子どもたちも良い方法だと鬼に集まります。実際に鬼のパンツを下されても、まだズボンなどはいているので問題はありませんが、鬼としてはトラのパンツを下げられると隠さずにはられません。結局今年は子どもたちに鬼はやられてしまいました。最近の子どもは強いですね。今後、大きくなった時が恐ろしいですね。